



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名 ナブテスコ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6268 URL http://www.nabtesco.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小谷 和朗  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 松本 敏裕 (TEL) 03-5213-1133  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 平成25年12月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	93,458	3.1	7,938	4.5	9,673	14.2	5,037	△22.7
25年3月期第2四半期	90,666	△7.2	7,595	△37.9	8,470	△35.8	6,513	△22.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 11,260百万円(78.6%) 25年3月期第2四半期 6,305百万円(△40.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	39.52	39.49
25年3月期第2四半期	51.33	51.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	217,114	130,025	56.3
25年3月期	203,056	120,857	56.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 122,129百万円 25年3月期 114,038百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		18.00		16.00	34.00
26年3月期		18.00			
26年3月期(予想)				20.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	198,900	10.8	18,500	23.2	22,100	23.5	13,900	4.7	109.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期2Q	128,265,799株	25年3月期	128,265,799株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	735,789株	25年3月期	828,516株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期2Q	127,483,647株	25年3月期2Q	126,906,371株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
(4) 追加情報	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	14
4. 補足情報	16
(1) セグメント別生産高、受注残高	16

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社を取り巻く世界の事業環境は、欧州諸国の景気低迷継続や中国経済の成長鈍化が見られる一方、日本経済においては安倍政権の経済政策アベノミクスへの期待感を背景に円安が定着しており、緩やかな持ち直しの傾向が続きしました。

このような中、当社グループの第2四半期連結累計期間の業績については、精密減速機事業や船用機器事業において売上が減少したものの、鉄道車両用機器の国内向けの増加や航空機器、油圧機器と自動ドア事業での円安効果を受けて、売上高は前年同期に比べ増収となり、営業利益も増益となりました。経常利益については営業外損益の改善により増益となりましたが、四半期純利益については、前年同期に計上したグループ会社の株式交換完全子会社化に伴う負ののれん発生益が当期には発現しなかったほか、退職給付制度改定損の発生により減益となりました。

## ① 受注高、売上高、営業利益

当第2四半期連結累計期間の受注高は、前年同期比14,443百万円(16.1%)増加し104,148百万円となりました。売上高は、前年同期比2,791百万円(3.1%)増加の93,458百万円となり、営業利益は同343百万円(4.5%)増加し、7,938百万円となりました。売上高営業利益率は同0.1ポイント増加し、8.5%となりました。

セグメント別概況は次のとおりです。

## 【受注高】

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	増減率(%)
精密機器事業	19,981	21,491	7.6
輸送用機器事業	19,023	23,348	22.7
航空・油圧機器事業	27,543	27,670	0.5
産業用機器事業	23,156	31,637	36.6
合計	89,704	104,148	16.1

## 【売上高】

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	増減率(%)
精密機器事業	20,314	19,513	△3.9
輸送用機器事業	22,565	23,960	6.2
航空・油圧機器事業	25,713	26,538	3.2
産業用機器事業	22,073	23,445	6.2
合計	90,666	93,458	3.1

## 【営業利益】

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	増減率(%)
精密機器事業	2,146	2,665	24.1
輸送用機器事業	2,452	2,581	5.3
航空・油圧機器事業	1,689	1,840	9.0
産業用機器事業	1,306	851	△34.8
合計	7,595	7,938	4.5

## 【精密機器事業】

精密機器事業の受注高は、前年同期比7.6%増加し21,491百万円となりました。売上高は前年同期比3.9%減少の19,513百万円、営業利益は同24.1%増加し2,665百万円となりました。

精密減速機の売上高は、産業用ロボットメーカー向けの需要減を受けて減収となりましたが、固定費削減及び生産性改善により営業利益は増加しました。

## 【輸送用機器事業】

輸送用機器事業の受注高は、前年同期比22.7%増加し23,348百万円となりました。売上高は前年同期比6.2%増加の23,960百万円、営業利益は同5.3%増加の2,581百万円となりました。

鉄道車両用機器は、国内向け売上の増加により増収増益となりました。商用車用機器では、東南アジア向けの需要は堅調に推移しましたが、国内補修向けの需要減により売上高、営業利益とも減少しました。船用機器は、船舶市況低迷の影響を受けて減収減益となりました。

## 【航空・油圧機器事業】

航空・油圧機器事業の受注高は、前年同期比0.5%増加し27,670百万円となりました。売上高は前年同期比3.2%増加の26,538百万円、営業利益は同9.0%増加し1,840百万円となりました。

航空機器は、民間航空機需要の拡大および円安効果により増収となりましたが、アフターサービスビジネスの減少を受けて営業利益は減少しました。油圧機器は、円安効果もあり増収増益となりました。

## 【産業用機器事業】

産業用機器事業の受注高は、前年同期比36.6%増加し31,637百万円となりました。売上高は前年同期比6.2%増加の23,445百万円、営業利益は同34.8%減少の851百万円となりました。

自動ドアは、国内市況は横ばいでしたが、円安の影響を受け増収となりました。また、営業利益は製品構成の変化により減少しました。包装機は、海外向けの売上減少により減収減益となりました。

(参考) 地域ごとの情報

## 【売上高】

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	増減率 (%)
日本	52,074	53,262	2.3
アジア	17,483	19,130	9.4
北米	5,652	7,169	26.8
ヨーロッパ	15,296	13,661	△10.7
その他地域	159	233	46.5
合計	90,666	93,458	3.1

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

2 アジア向けの増は主に油圧機器の中国向け増加によるものです。

3 北米向けの増は主に航空機器の増加によるものです。

4 ヨーロッパ向けの減は主に精密減速機の減少によるものです。

## ② 経常利益

当第2四半期連結累計期間の経常利益は前年同期比1,203百万円(14.2%)増加の9,673百万円となりました。

主な増加要因は、前述の通り営業利益が増加したことによるものでありますが、営業外収益は持分法による投資利益の増加や、為替差益の発生により前年同期比667百万円増加の1,943百万円、営業外費用は為替差損が発生しなかったこと等により前年同期比192百万円減少の208百万円となりました。

## ③ 四半期純利益

当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は前年同期比1,475百万円(22.7%)減少の5,037百万円となりました。

特別利益は、前年同期に計上したグループ会社の株式交換完全子会社化に伴う負ののれん発生益が今期は発現しなかったこと等により前年同期比1,032百万円減少の42百万円、特別損失は、退職給付制度改定損の発生等により、前年同期比837百万円増加の938百万円となりました。

以上の結果、税金等調整前四半期純利益は前年同期比667百万円減少の8,776百万円となりました。法人税等は前年同期比865百万円増加の3,510百万円となり、少数株主利益は、前年同期比56百万円減少の228百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (平成25年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成25年9月30日)	増減額
総資産	203,056	217,114	14,058
負債	82,198	87,089	4,891
純資産	120,857	130,025	9,167

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は120,693百万円、固定資産は96,421百万円であり、その結果、総資産は217,114百万円と前連結会計年度末比14,058百万円の増加となりました。主な増加要因は、現金及び預金の増加7,179百万円、たな卸資産の増加2,620百万円、投資有価証券の増加2,435百万円及び無形固定資産の増加1,764百万円であります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は65,803百万円、固定負債は21,286百万円であり、その結果、負債合計は87,089百万円と前連結会計年度末比4,891百万円の増加となりました。主な増加要因は支払手形及び買掛金の増加2,304百万円であります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は130,025百万円であり、自己資本は122,129百万円と前連結会計年度末比8,090百万円の増加となりました。主な増加要因は、四半期純利益5,037百万円による利益剰余金の増加、在外子会社の為替変動による為替換算調整勘定の増加4,237百万円であります。一方、主な減少要因は、配当による利益剰余金の減少2,049百万円であります。

## ② キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結会計期間末 (平成24年9月30日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成25年9月30日)	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	6,119	11,349	5,230
投資活動による キャッシュ・フロー	△9,215	△4,041	5,174
フリーキャッシュ・フロー	△3,096	7,308	10,405
財務活動による キャッシュ・フロー	△8,003	△3,192	4,811

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動により獲得した資金11,349百万円を主に設備投資、借入金の返済、配当金の支払等に充てた結果、45,377百万円と前連結会計年度末比5,177百万円の増加となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間比5,230百万円収入が増加し、11,349百万円の資金の増加となりました。増加要因としては主に税金等調整前四半期純利益、売上債権の減少、仕入債務の増加によるものであります。一方、減少要因としては主にたな卸資産の増加、法人税等の支払によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間比5,174百万円支出が減少し、4,041百万円の資金の減少となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間比4,811百万円支出が減少し、3,192百万円の資金の減少となりました。減少要因としては主に借入金の返済及び配当金の支払によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績及び今後の動向等を踏まえ、平成25年5月10日に発表しました平成26年3月期通期の業績予想を修正することとしました。

詳細につきましては、平成25年10月31日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、平成25年5月10日に公表しました連結業績予想との差異は以下の通りです。

## 平成26年3月期通期 連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	201,000	22,000	25,100	15,900	125 29
今回修正予想 (B)	198,900	18,500	22,100	13,900	109 03
増減額 (B - A)	△2,100	△3,500	△3,000	△2,000	—
増減率 (%)	△1.0	△15.9	△12.0	△12.6	—
前期実績	179,543	15,013	17,890	13,269	104 57

## ① 売上高

(単位：百万円)

	精密機器	輸送用機器	航空・油圧機器	産業用機器	計
前回発表予想 (A) (平成25年5月10日発表)	44,600	48,700	53,200	54,500	201,000
今回修正予想 (B)	43,300	49,800	52,400	53,400	198,900
増減額 (B - A)	△1,300	1,100	△800	△1,100	△2,100
増減率 (%)	△2.9	2.3	△1.5	△2.0	△1.0
前期実績	41,578	44,262	45,746	47,956	179,543

## ② 営業利益

(単位：百万円)

	精密機器	輸送用機器	航空・油圧機器	産業用機器	計
前回発表予想 (A) (平成25年5月10日発表)	7,100	5,300	4,600	5,000	22,000
今回修正予想 (B)	6,300	5,200	3,100	3,900	18,500
増減額 (B - A)	△800	△100	△1,500	△1,100	△3,500
増減率 (%)	△11.3	△1.9	△32.6	△22.0	△15.9
前期実績	5,354	4,214	1,836	3,608	15,013

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

#### 退職給付制度の改定

当社は平成25年7月1日付で確定給付企業年金制度を終了し、その全額を確定拠出企業年金制度に移行することにより、確定拠出企業年金制度が退職給付制度に占める割合を、これまでの30%から60%に引き上げております。

本移行に伴う会計処理については、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第1号）を適用し、第2四半期連結累計期間において特別損失を837百万円計上しております。



3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,904	21,084
受取手形及び売掛金	45,131	45,454
有価証券	26,998	24,999
商品及び製品	3,957	4,640
仕掛品	7,808	9,659
原材料及び貯蔵品	8,764	8,850
繰延税金資産	2,606	2,629
その他	2,994	3,555
貸倒引当金	△118	△179
流動資産合計	112,048	120,693
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	44,042	46,710
減価償却累計額	△27,504	△28,300
建物及び構築物(純額)	16,537	18,410
機械装置及び運搬具	60,129	63,052
減価償却累計額	△41,497	△43,837
機械装置及び運搬具(純額)	18,631	19,215
工具、器具及び備品	21,290	22,439
減価償却累計額	△19,022	△19,836
工具、器具及び備品(純額)	2,267	2,602
土地	14,592	14,677
建設仮勘定	2,447	866
有形固定資産合計	54,475	55,772
無形固定資産		
のれん	15,808	17,246
その他	1,771	2,096
無形固定資産合計	17,579	19,343
投資その他の資産		
投資有価証券	16,902	19,337
繰延税金資産	482	480
その他	1,716	1,620
貸倒引当金	△147	△133
投資その他の資産合計	18,953	21,304
固定資産合計	91,008	96,421
資産合計	203,056	217,114

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,026	30,330
短期借入金	6,098	5,619
1年内返済予定の長期借入金	70	10,043
未払法人税等	3,222	3,572
製品保証引当金	1,105	930
受注損失引当金	14	4
その他	13,783	15,302
流動負債合計	52,322	65,803
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	10,220	378
退職給付引当金	7,022	6,503
役員退職慰労引当金	187	186
繰延税金負債	1,376	1,819
その他	1,070	2,399
固定負債合計	29,876	21,286
負債合計	82,198	87,089
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	19,026	19,011
利益剰余金	83,606	86,592
自己株式	△739	△606
株主資本合計	111,894	114,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,294	2,043
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	851	5,088
その他の包括利益累計額合計	2,144	7,132
新株予約権	304	236
少数株主持分	6,514	7,658
純資産合計	120,857	130,025
負債純資産合計	203,056	217,114

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	90,666	93,458
売上原価	68,322	69,280
売上総利益	22,344	24,177
販売費及び一般管理費	14,748	16,238
営業利益	7,595	7,938
営業外収益		
受取利息	63	64
受取配当金	40	38
受取賃貸料	117	117
持分法による投資利益	816	1,286
為替差益	—	308
その他	238	128
営業外収益合計	1,275	1,943
営業外費用		
支払利息	125	105
為替差損	166	—
その他	108	103
営業外費用合計	401	208
経常利益	8,470	9,673
特別利益		
固定資産売却益	37	3
出資金売却益	—	38
ゴルフ会員権売却益	10	—
負ののれん発生益	1,026	—
特別利益合計	1,074	42
特別損失		
固定資産処分損	45	36
投資有価証券評価損	1	—
株式交換関連費用	53	—
退職給付制度改定損	—	837
環境対策費	—	65
特別損失合計	100	938
税金等調整前四半期純利益	9,444	8,776
法人税等	2,645	3,510
少数株主損益調整前四半期純利益	6,798	5,266
少数株主利益	284	228
四半期純利益	6,513	5,037

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,798	5,266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△741	728
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	239	5,116
持分法適用会社に対する持分相当額	8	148
その他の包括利益合計	△493	5,994
四半期包括利益	6,305	11,260
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,916	10,025
少数株主に係る四半期包括利益	388	1,234

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,444	8,776
減価償却費	3,833	3,640
のれん償却額	394	485
負ののれん発生益	△1,026	—
株式報酬費用	48	52
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10	17
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△267	△519
受取利息及び受取配当金	△104	△103
支払利息	125	105
持分法による投資損益 (△は益)	△816	△1,286
固定資産売却損益 (△は益)	△37	3
固定資産処分損益 (△は益)	45	36
投資有価証券評価損益 (△は益)	1	—
出資金売却及び評価損益 (△は益)	—	△38
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	△10	—
売上債権の増減額 (△は増加)	2,244	994
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,605	△1,181
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,607	1,289
その他	708	2,023
小計	10,360	14,296
利息及び配当金の受取額	258	314
利息の支払額	△124	△101
法人税等の支払額	△4,375	△3,160
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,119	11,349
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△26	△120
定期預金の払戻による収入	—	185
有形固定資産の取得による支出	△8,354	△3,507
有形固定資産の売却による収入	63	112
無形固定資産の取得による支出	△502	△476
無形固定資産の売却による収入	—	15
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
出資金の売却による収入	—	145
ゴルフ会員権の売却による収入	13	—
関係会社株式の取得による支出	△63	△57
連結の範囲の変更を伴う子会社出資金の取得による支出	△82	△463
その他	△256	132
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,215	△4,041

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△5,591	△994
長期借入金の返済による支出	△34	△58
少数株主からの払込みによる収入	396	20
自己株式の取得による支出	△1	△2
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△2,156	△2,048
少数株主への配当金の支払額	△617	△108
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,003	△3,192
現金及び現金同等物に係る換算差額	330	1,061
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△10,769	5,177
現金及び現金同等物の期首残高	50,023	40,200
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,253	45,377

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精密 機器事業	輸送用 機器事業	航空・油圧 機器事業	産業用 機器事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	20,314	22,565	25,713	22,073	90,666	—	90,666
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	80	488	44	626	(626)	—
計	20,326	22,646	26,201	22,118	91,293	(626)	90,666
セグメント利益	2,146	2,452	1,689	1,306	7,595	—	7,595

(注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高に係る調整額は、セグメント間取引消去△626百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれんの発生益)

「産業用機器事業」セグメントにおいて、当社を完全親会社としナブコドア株式会社を完全子会社とする株式交換を、平成24年8月1日にて完了しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては1,019百万円であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「精密機器事業」のセグメント利益が30百万円、「輸送用機器事業」のセグメント利益が6百万円、「航空・油圧機器事業」のセグメント利益が20百万円、「産業用機器事業」のセグメント利益が2百万円それぞれ増加しております。



## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精密 機器事業	輸送用 機器事業	航空・油圧 機器事業	産業用 機器事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,513	23,960	26,538	23,445	93,458	—	93,458
セグメント間の内部 売上高又は振替高	29	78	536	38	683	(683)	—
計	19,543	24,038	27,075	23,483	94,141	(683)	93,458
セグメント利益	2,665	2,581	1,840	851	7,938	—	7,938

(注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高に係る調整額は、セグメント間取引消去△683百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

## (1) セグメント別生産高、受注残高

## ① 生産高

報告セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
精密機器事業	21,502	22.8	19,217	20.1
輸送用機器事業	23,478	24.9	24,169	25.2
航空・油圧機器事業	26,338	27.9	27,857	29.1
産業用機器事業	22,998	24.4	24,577	25.6
合計	94,318	100.0	95,821	100.0

(注) 1 上記の金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれていません。

## ② 受注残高

報告セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
精密機器事業	12,294	17.6	10,825	13.6
輸送用機器事業	15,896	22.7	15,758	19.7
航空・油圧機器事業	26,086	37.2	28,837	36.1
産業用機器事業	15,733	22.5	24,391	30.6
合計	70,011	100.0	79,813	100.0

(注) 1 上記の金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれていません。